



マイグレーションガイド Ver1.3.0

目次

1 章	はじめに.....	3
2 章	準備作業.....	4
3 章	アプリケーションの移行.....	5
4 章	動作確認.....	8

1章 はじめに

1.1 前提条件

この資料は、現時点で、DataAnyware Ver1.2.x をご利用のお客様の環境を DataAnyware 2.0 Ver1.3.0 にマイグレーションするための作業を記述しています。

以下の方法で作業を行っていただければ、以前のバージョンで作成したデータを引き続き機能アップされた新しいバージョンでご利用いただけます。

この資料を最後までお読みになってから、作業を始めてください。

1.2 マイグレーション手順

以下の手順でマイグレーションを行ってください。

2章 準備作業	
☐	作業ユーザーの確認
☐	サービスの停止
☐	アプリケーションのバックアップ
3章 アプリケーションの移行	
☐	アプリケーションの移行
4章 サンプルスクリプトの移行	
☐	サンプルスクリプトの移行
5章 動作確認	
☐	動作確認

2章 準備作業

マイグレーションを行うための準備作業を示します。以下の作業を必ず行ってください。

2.1 作業ユーザーの確認

本製品の導入を行った管理ユーザーでログインしていることを確認してください。

2.2 サービスの停止

DataAnywareStudio を起動している場合は停止してください。

サービスから DataAnywareServer、DataAnyware Admin Console 及び PrintProServer を停止してください。

2.3 アプリケーションのバックアップ

アプリケーションのバックアップとして、以下のフォルダをバックアップとして保管してください。

- ・ DataAnyware 管理コンソール
[インストールディレクトリ]/AdminConsole/webapps/console
- ・ DataAnywareServer
[インストールディレクトリ]/server
[インストールディレクトリ]/client

3章 アプリケーションの移行

管理コンソールのマイグレーション手順を示します。

1. 管理コンソールの Migration_AdminConsole_V130.exe を実行してください。
インストーラが実行され、開始画面が表示されるので、管理コンソールが停止していることを確認して、
[次へ] ボタンをクリックしてください。
2. [使用許諾契約]が表示されます。内容を確認のうえ、
[使用許諾契約の条項に同意する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。
3. 管理コンソールをインストールしたディレクトリを選択してください。
デフォルトでインストールされたディレクトリが入力されているので
確認のうえ[次へ] ボタンをクリックしてください。
4. ユーザーdbadmin のパスワードとマイグレーション実行ログを出力する
ディレクトリを指定してください。
5. 要約が表示されます。入力した値に間違いがなければ
[インストール] ボタンをクリックしてください。
6. インストールが終了するまでしばらくお待ちください。
7. インストール完了画面が表示されます。引き続き Server のマイグレーションを行います。

Server のマイグレーション手順を示します。

1. 64bit 環境である場合は Migration_V130_64.exe を、32bit 環境である場合は Migration_V130_32.exe 実行してください。
開始画面が表示されるので、Server が停止していることを確認して、[次へ] ボタンをクリックしてください。
2. [使用許諾契約]が表示されます。内容を確認のうえ、
[使用許諾契約の条項に同意する]を選択し、
[次へ] ボタンをクリックしてください。
3. マイグレーションを行うコンポーネントを選択します。
Server と Client/ Server のみ/ Client のみ のいずれかを選択して[次へ] ボタンをクリックしてください。
4. [アダプタ選択方法の指定]画面が表示されます。導入するアダプタを手動で選択する場合には「カスタム」を選択して、[次へ] ボタンを押下してください。**オプションアダプタ (PrintPro, PrintProPDF, PostgreSQL) をご購入されている場合は「カスタム」を選択してください。**
5. ※4. で「カスタム」を選択した場合のみ
アダプター一覧が表示されます。導入するアダプタにチェックを入れて[次へ] ボタンを押下してください。
6. 本製品をインストールしたディレクトリを選択してください。
デフォルトでインストールしたディレクトリが入力されているので
確認のうえ[次へ] ボタンをクリックしてください。
7. CVDB 接続情報を入力してください。
デフォルトでホスト名/IP アドレスに localhost、パスワードに dbadmin が
入力されているので確認のうえ[次へ] ボタンをクリックしてください。
8. 要約が表示されます。入力した値に間違いがなければ[インストール] ボタン
をクリックしてください。
9. インストールが終了するまでしばらくお待ちください。
10. インストール完了画面が表示されます。

以上でアプリケーションの移行は完了です。

Server、及び管理コンソールを起動してください。

※Windows2008Server R2, Windows7 へ導入した場合、Server, および Client を実行する際に管理者として実行する必要があります。

4章 動作確認

- ・ 管理コンソール

1. ログイン画面のバージョン表記が「Ver. 1.3.0」になっているか
2. ログイン可能か
3. 各種リストは正常に表示されているか
4. 各画面に文字化けなどが起こっていないか

- ・ Server

1. ログイン可能か

※Windows2008Server R2, Windows7 へ導入した場合、Server, および Client を実行する際に管理者として実行する必要があります。

2. 作成したスクリプトが実行可能か
3. [コントロールパネル]-[バージョン情報]の「全般」タブから表示される項目が以下のように表示されているか

項目	バージョン
製品名	CustomerVision DataAnyware 2.0 v1.3.0
インストーラバージョン サーバ	DataAnyware 2.0 MigrationKit 1.3.0
インストーラバージョン クライアント	DataAnyware 2.0 MigrationKit 1.3.0

マイグレーションガイド Ver1.3.0

第1版 2009 年 12 月 4 日

第3版 2010 年 05 月 23 日

発行 JB アドバンスド・テクノロジー株式会社

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3 丁目 9 番地 C 号ビル

お問い合わせ 弊社ホームページより、お問い合わせください。

<http://www.jbat.co.jp/>

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、日本ビジネスコンピューター株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。

